

## 夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！②

小島 武雄

「8月19日(土)夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！②」が開催されました。



「ならやまベースキャンプ」は素晴らしい天候に恵まれ、幼児を含む子供35名と保護者23名の計68名の参加者が集まり、当会会員39名がスタッフとして対応しました。みんなで記念写真撮影の後、4班に分かれて午前中のカレー作りが緑陰広場で始まりました。

猛暑の中、飯盒炊爨をするかまどの熱気のすごいこと。子供たちが包丁で野菜を切るの、見ている方がハラハラ。飯盒は各班5個ずつ受けとり、お米洗いは可愛い手でしっかりとできました。かまど作りでは、マッチの使い方から木の枝の燃やし方、火の熱気や煙たさなど、普段体験できないことを、子供たちは元気に嬉しそうに、また真剣にやってくれました。そして、漂ってくるカレーの匂いを嗅ぐと誰もお腹がグーッとります。



しかも今日は特別の、自分たちで作ったカレー！おいしくておいしくて何杯もお代わりする子も。

また食事の後片付け、20個の飯盒洗いも、みんな仲良くやってくれました。

午後は、お楽しみの「里山の探検」。子供たちは2グループに分かれ、ヘルメットを被って山の中へ。里山Gが工夫して準備した仕掛け。最初の冒険はロープで山の斜面登りです。緩急2コースと通常観察路の3コース。湿った枯葉道はロープに掴まっても足が滑ってなかなか思うようにはいきません。人気の一番きつい登りは、むしろ大人の方が大変でした。登りきった所は「遊びの広場」。丸太をくくり付けたロープのブランコ、梯子で高いところまでの木登りや丸太渡り、子供たちのバランス感覚が素晴らしい。6ヶ所も作られたこんな遊びは普段できません。キャーキャーとみんな夢中です。あっという間の30分。まだまだやりたいけど！観察路を下りながら、椎茸ホダ木や、皆伐地域を通り抜けて戻ります。



次は、「自然工作」です。丸太のペンダントに木の実や枝を貼り付けて、思い思いの昆虫や、顔を上手に作りました。それぞれ個性的でなかなかの出来栄です。とても素敵。みんなの嬉しくて満足な笑顔！保護者の方にも十分楽しんでいただきました。

最後にアンケートに記入してもらい、お土産に鹿の折り紙を手渡し。

熱中症を心配しましたが、参加者スタッフ一同事故なく、午後3時、「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！②」は無事に終了しました。

事前のイベント準備、当日のスタッフの皆さま、大変暑い中、最後までありがとうございました。

担当幹事(中井、桜木、小島)